

原爆ゼロ新聞

発行所

後藤瑞季

原爆先生の話

原爆先生の話を聞いて知

たことが二つあります。

一つ目は、原子爆弾投下都市の条件があったことです。条件は、

①直径5kmを超える

②平野であること

③空襲がなかった

です。

二つ目は、候補になった都市が五つ

あったことです。その都市が、

①広島 ②小倉 ③長崎

横浜、新潟、京都

です。

投下の条件や候補になった都市が五つもあったことを知ってとてもびっくりしました。

資料館の

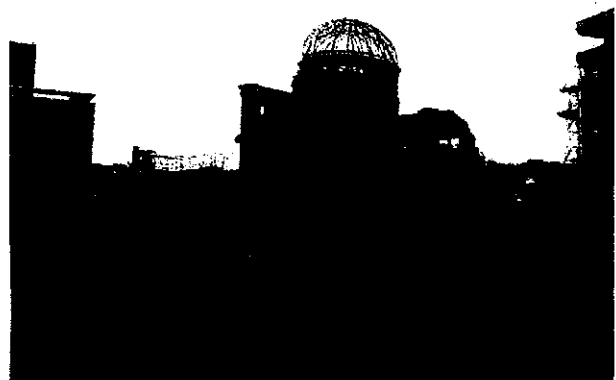
展示物をみて

資料館には、ホロボロになった服や黒くなったお弁当、三輪車などがありました。特に印象に残っている物は、原爆をうけた人の姿を再現したろう人形です。原爆先生の話でも、このろう人形のことがありました。その話の中で「きれいすぎる」という言葉ができました。私は実際にみて、これがきれいすぎて本当はもっとひどいということに怖さと恐ろしさしかありませんでした。ほかに、黒い雨が降っているあみやや人の影がついている壁などがありました。本物の物や本当の話を知ることができたので、原爆が起す被害の大きさにについて深く考えることができました。

原爆ドームをみて

原爆ドームは、広島県産業奨励館という名前です。実際は、原爆投下目的の地より少しはずれた場所に落ちましたが、この建物は原爆が投下されたすぐ近くにありました。ですが、少しの被害だけですが、今も残されています。

私は、原爆ドームの前で合唱をして、今平和に何事もなく生活したり合唱で暮らすことに幸せを感じました。



なので、もう二度原爆が使われないうちに、自分ができていることを思いました。

研修新聞

発行所
伊藤 綾那

71年前の広島

原爆先生の話を聞く前の

私は、原爆のことを深く考えたいとは思っていませんでした。原爆

先生の話は当時の広島に住んでいた人の苦しみや痛みが、その

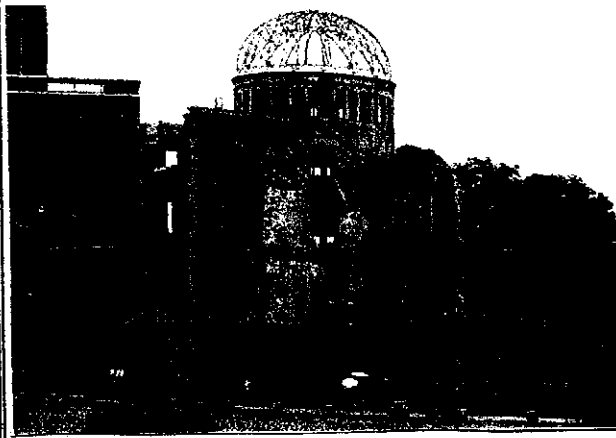
まま伝わってくるような話でした。話をきいただけで、暗い、悲しい

気分になりましたが、広島研修で実際に原爆ドームや資料

館などをみると、原爆先生の話をきいたときよりも、苦しみや

痛みが伝わってきました。資料

館に置いてあった人形は皮膚が焼けただれ赤く何リ、をマもねまねましか、にです。これからはもう戦争はやめてほしい、ほしい、思いました。原爆は絶対に作ってはほらほに恐いものだと改めて思いました。原爆ドームを見ながらでの合唱では、原爆でなく、この方々を思い、一生懸命、うたいたいとができました。



神戸の悲劇

神戸で起きた大震災は私が思っていたよりもひどかったです。震災のビデオを見ただけでも、こんなに思ったのに、それが現実で起きたと思うと、とても恐いのです。この大震災が一番こわいと思ったのは地震が起きたあとの火災です。家から家へとどんどん火がうつり、御中が燃える光景を思い浮かべると、とてもこわいと思います。ほのほの、いつ地震がきても逃げられるように、食料などを確保しておきたいです。

私はこの広島研修で原爆、震災の恐しさを改めて学んだので、ほのほの方のことを思い、これから生活していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて原子爆弾のおそろしさやひどさを知ることができました。私が想像していたよりも、もっと、もっとひどいということが分かりました。

原爆は計画的だったことが分かりました。効果的な場所を探し、第3候補まであったなんて、ひどいと思いました。原爆を必ず落としたりという感じがイヤだなと思いました。原爆は私が思っていたよりもずっと大きく、ウラニの量があんな少なかったのに広島が何もなくなってしまったので、ウラニ全部だったら、広島はどうなったんだろう、日本はどうなったんだろうと思いました。

池田義三さんのビデオで資料館よりもっとざんざんな事がおきたんだということが分かりました。

今、北朝鮮などの国で核兵器実験が行われているので、自分たちに関係のない話では無いと思いました。すごくおくなりました。広島や長崎でおきたことをもうくり返さないように私にできることを探したいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が話をきいて一番心に残ったことは、
トランクリンむらがり、助けを求めるときに
手を差し伸べたすけようと手をもち、やけど
の心がただれおち、痛い、且けて、という人
がたくさんいて、助けようとした原爆先生のお父
さんをはじめとする兵士の人たちがそのかんしゃく
にゾッとした、という事です。

この場面では、自分がその人たちの立ち場に
なっただけでも、ゾッとしました。それを
実体験したお父さんは本当にすごくゾッとした
と分かりました。

他にも、原子爆発で体があつくなり、
と、さにはびこる人がたくさんいたと
知りおどろきました。そして、体があつすぎて
川の水が蒸発してしてしまうほどだ、たとき、本当に
おどろきました。

原爆先生が言う、それは、原爆ドームの人形を
見るときには、先生がほたしてくたさ、さけなしを
思いたし、その苦しみを感じとり、原爆の被害をみよたい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

戦争はやっではいけないと思、ていました。今日の話を聞いて自分が思、てた以上のひどく、恐ろしいものだとこのことを知りました。たった1つの原爆で何万人の人の命が犠牲になっ、てしまうことがどれだけ大変なことか、救えていたかくこれが大変なことです。そして命を救うため、助けるために働く兵隊さんの気持ちは今、私にはわからないほど辛く苦しか、ったと思います。それでも人のために、守るために、いつ死んでしまうか分からなくとも逃げず、戦った兵隊さんはすごいと思いました。戦争のひどさをただ知るだけでなく、恐ろしさも知り、今の生活に感謝することが大切だと思、ていました。話を聞くだけでなく写真を見るだけでも、戦争というものがどれだけ恐ろしく大変なものなのかを感じることはできました。実際に体験した人がどんな気持ちだったか、平和学習でもっと学んでいきたいと思、ていました。お話を聞いて、戦争に対する怖、いと思、った気持ちも忘れが、たいです。私が何気なく生きている今日は、誰かが生き残、った1日というのを忘、れず、毎日大切に生きていきたいです。今の私にできることは、旧、いも大切に。戦争のことを忘、れず生きていくことだと思、ていました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話を通じて感じたのは、原爆に対する恐怖です。生徒会長が話したように、原爆の悲惨さは分かっているつもりだ。たけど、話を聞いて考えを改めなければいけないと思いました。原爆の温度や速度などを見ると、地獄以上の場所だ。たのかなと思います。そんな地獄以上に辛い場所で死体の処理をしたり、人の命を助けたりしていた池田義三さんがとてもすごい人だなと感じました。当時の人々が経験した原爆は、話できくだけでは何億分の一も感じることはできません。けれどこの経験を二度と誰もしないようにすることは、今を生きる私たちのやるべきことだと思います。もうその当時を知る人は少なくなっています。後世に原爆や戦争の惨状を忘れずに残したいです。そして戦争という単語をきいたときに、今日の話を出してどの方法がいちばん平和に解決できるのか少し考えてみたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学校4年生くらいのころ、原爆^{じゅこう}というのを知りました。その時、ふと思っただけです。もし原爆が落^おとされてしまつて、御嵩のバローくらいに落ちたら、私の家の所まではこたないのかな、て。バローから、私の家まで、1kmあるかなくらいです。今日、原爆先生から教えていただいた原爆の事実を聞いて、あんなことを考えた自分は、バカだなと思ひました。聞いただけでも恐ろしい原爆。そんなものが本当に日本に投下されたという事実を考えると、体験してない私はとても不思議な感^{かん}じがします。

原爆先生のお父校がビヲオの中泣いていたのを見て私は、戦争って本当に、本当にむだなことだよ。と^田いい、何で戦争というものをしてるのだろう。とくたならなく思ひました。

私達の時代も、もしかしたら戦争をしなくてはならなくなるかもしれない時代です。でも、修学旅行で広島で原爆ドームなどを見て、平和の歌を歌い、戦争の時代にならないうようにしていきたいです。

原爆というおそろしい事実をバ^バにおき、生活して平和を願ひていきたいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

・原爆先生の話をきいて、思ったことが2つあります。

1つ目は、原爆の悲惨さがとても心に残りました。皮ふが焼けて、もがき苦しんでも、誰も助けられないと言うのが、とても残酷、でした。その頃の日本が遅れていたようにも感じられました。亀谷くんも言ったように、これからの学習に生かしていきたいです。

2つ目は、原子爆弾のしくみです。「1kg」たったこれだけのウラニで広島市の一部を真黒にしてしまい、約14万人の尊い命をうば、ていったのが体験していない私が言うのもあれですが、許せません。今でも、被爆して苦しんでいる人たちがいるのに、なにもできないうのが悔しいです。将来、私たちにできること、役立っことが、できるなら、一生けん命その人たちの苦しみをやわらげ、てあげたいです。

私は、今回の話をきいて、いろいろなことを学ぶことができました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、広島の前爆について原爆先生の話を聞いて私は更に原爆のおそろしさを知る事ができました。広島の前爆は私が思っていた想像より更にひどく本当に怖いものでした。それなのに原爆先生のお父さん、池田義三さんは17歳で入隊し、戦争と戦かっていたなんて私には絶対考えられたいと思いませんでした。私が一番怖いと思っただのは原子爆弾が太陽よりも熱かたという事です。太陽よりも熱いものが町に落ちていたなんて信じられませんでした。本当に怖いと思いませんでした。そして私が一番印象に残っている物は原爆の映像です。あの映像は本物じゃなくて二セモノなのに私はすごく怖かたし、恐ろしかたです。そんな原子爆弾が今ではも、と進化していて色んな国が持っていると思うと不安になります。私も嫌なので絶対戦争はやらないで欲しいと思いません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田さんは最初からずっと真剣な顔をしていて、
こっちまでこれからどんな話が始まるんだろうとずっと緊張感が
高まりました。始めは7000℃の少年というタイトルの意味が
よく分からなかったけど、どんどん原子爆弾について聞いてい
くと、リトルボーイという名の原子爆弾から落ちた7000℃の球の
ことだということが分かりました。太陽よりも全然あつく、話を
聞いても想像しきれませんでした。ずっと前から原爆はすご
い怖いもので、たくさんの人を傷つけたものを知っていたけど、
今回100分もの深すぎる話を聞いていると原爆の落ちた様子や
どんなことになってしまったのが少しずつ理解できてきて、本当に怖く
なってきました。原爆音を聞いたときは、実際もっとすごい音
だと思いと恐ろしくなりました。原爆におて、ひどいやけどを
した人が多いことは知っていたけど、まさか一瞬で人間という
形がただと灰とけむりになってしまうなんて考えもしてなくて、
とても衝撃的でした。人がただの影だけになってしまった写真
を見たときは、こんなことありえるのかって、疑いたくなりました。
今回の話だけで、原爆のことを全て知った、痛みが分かるとは、
決して言えないけど、少しでも知ることができたのでよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の授業を受けて思ったことは原爆はとても怖いという事です。初めて知ったことが多くありました。

まず、原爆は本当に熱いということです。表面の温度が7000℃と太陽よりも温度が高いと知って驚きました。また、その高温をたった1kgのウランで生み出せるので、恐いと感じました。広島市の人口の35万人のうち、死者数が14万人で、そのうちの2万人が一瞬のうちに亡くなってしまいました。その死亡率の高さにまた驚きました。

私はもちろん原爆が落とされたところを見ていません。けれど、真徳先生の話を聞いたとき、悲しい気持ちになりました。被爆者の皮膚がずり落ちる。それだけで全身がぞろぞろしました。でも、実際に原爆についてその光景を見た人たちはもっと悲しく、苦しいものだと思います。私が原爆について深く知って、二度と戦争を起こさないようにしていかなければいけないと感じました。今回の経験も広島研修に生かしたいです。戦争を忘れないようにするために、私たちに伝えて下さった多くの人々のために、自分自身が忘れないようにするために、私ができる精一杯のことをしたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆先生の話聞いて、心に残ったことは
原爆は本当に恐ろしいものだ、ということです。

自分の中では、原爆はこわいものだとは分かってはいたつもりでした。
しかし、爆心の表面温度は太陽の表面温度よりも高いとか、
火が一瞬にして消えたのを見た人がいるとかという話を
聞いて、想像していた以上に恐ろしいものだった、と
いうことが分かりました。また、原爆について初めて
知った情報がたくさんありました。広島、長崎以外の
都市も原爆投下の候補になっていたこと、原爆は110ラ
ンで落ちてきたのではなく、そのまま爆弾ごと落ちて
きていたこと、様々な偶然が重なったために長崎に原爆が
落とされてしまったこと、ゴルフボール1個分のウランが
爆発しただけで、あの恐ろしい出来事が起こってしまったこと
原爆によって広島の人40%の人が亡くなってしまったこと。
どの情報聞いても驚きをおさめません。今回学んだ
ことは、絶対に忘れてはなりません。そして、今後につ
なげなくてはなりません。そのことを心に留めて生活
します。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

あらためて、戦争・原爆はこわいなと思いました。
池田義三さんが体験した、原爆は、思い出す
だけで、つらくて、なみだが出るくらい悲しいこと
だったんだろうなと思いました。

それとどうじに、にどとこんな最悪なだれも
良い思いをしないうことをしてほいけなうと思っ
ました。

そのために、原爆を實事に体験した人や、
原爆のことをくわしく知っている人から、私たち
子どもが教えてもらって、理がわかって、もしも、日
本が戦争をするかもしれなくなったときに
とめなうといけなうと思いました。

なので、今回原爆先生の話を聞かせてもらって
感謝しています。ありがとうございました。

あまりよく、戦争とかを知らなくて、あまり興味もな
く、関係ないしと思っていたけど、関係ないんじゃない
し、戦争のことをもっとしていかないといけなうと思
いました。すし興味をもつことが出来ました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

義三さんは17才でちょうど兵で行ったと聞きました。私だとあと2年で行くということになります。まだ大人とはいいないう状態で臨むのは考えられないです。義三さんが投下後、原爆資料館に行き、発見した「きれいなあざむ」^田ということは、実際はもっともっとあざむで見ているんじゃないもの、という意味に聞こえました。私も、もっと、原爆投下について知らないといけないなと思いました。そして伝えていかないなといけないなと思いました。11:00に落ちろぞ!と言われて、何寸えられる人口があざむいな、と思いました。私だったら恐怖にかられて居ても立ててもらわれないと思えます。広島で爆発したのは1kgであのいまおいだったけど今の技術で60kgはいけるというので、絶対に落とすにはならないなと改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の授業で2時間ぐんときんりょうしました。
 原爆はおそろしいものだ"と知っていたけど話 ぶきいて想像
 以上にこわいものだ"と思いました。特に怖いと思った
 話では、皮膚がさわつたにドリでさると落ちたというこ
 が目のドキッとしました。話ぶきいたドリでもドキッ
 なのに、イメージしたら何も言えなくばくらの怖くなって。
 実際体験した池田義三さんはもう怖い以上で、その中でも
 真黒に染った人をみして助けたいのは、「すごい」と思
 いました。自分だけに怖くて、力いて走って逃がってし
 まうのかと思いました。ものすごい勇気のめる、ヒーローに
 いる人だと思いました。自分も、義三さんみたいに強い人
 になりたいと近づくように優しい心を常に持つて生きてい
 たいと強く思いました。

自分は、もう二度と戦争を行わないようにするため、平和な
 世界にするため、真剣に考え、みんな仲良くしていきたい
 了。自分には力なうらさ、助け合ひ人の話をしっかり聞いて
 力をかけていかなければいけません。まずはこのように自分に
 なることを目指していきいます。

たくさんのお話を聞かせてくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、話を聞いて原爆って本当に恐ろしいものだなと改めて思いました。私は、戦争というものを経験したことがないので怖いものなんだろうなというあいまいな気持ちでした。ですが、今日の話を聞いて、ものすごく恐ろしかったです。皮膚がはがれる所はとても体がゾッとしました。

今、私たちは戦争がない時代に生まれてきました。戦争がないのがあたりまえであり、最近では戦争を体験した方々が高齢になり、なかなか戦争について聞くことができなくなってきました。しかし、戦争がないこと、平和であることはとても幸せなことなんだなと感^じることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は先生の話を聞いて、思ったことは
広島に原爆が落ちる前にどうにか
できなかったのか、くわうことと、本当に
落として誰かが得をしたのかという
疑問が浮かびました。もちろん、原爆
は勿論、先づ、聞いたようにとても恐ろしい
ものです。だからこそ僕は、広島石井修
に行ったときも、たくさんの現実を自分の目で
確かめたいと思いました。

戦争に正義と悪はつけるのは難しいと
よく言われますが、僕は始めたときから両方
悪だと思っています。原爆を落とされたから
ひどいというわけではないし、かといって
落とされた側にももちろん責任はあります。なので
結果的に僕は、原爆、そして戦争に
いたるまでの人の行い、戦争に流れを
もっていく考えはなくすべきたと今日
考える：とかいてきました。これから心は
しっかりとこの現実を刻んでおきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生のお父さんの本当に体験したお話を聞いて、今まで自分が想像していたものよりもはるかに怖く恐ろしいものだと分かりました。わずか17才で入隊した池田さんは被爆した人のことを近くで見ているというよりは自分たちでは考えられないことだし、とても怖いと思いました。3000℃の温度で焼かれて亡くなってしまった人は昔は時間もなく一瞬に死んでしまったのだと思うと、とても悲しいことだと感じました。そしてせけいを負って痛みや苦しさがひどい状態になってしまった人たちはとても苦しかったし、どうすればいいのか分からなくなっていたと思います。こういう環境で空から原爆空の写真をとっていた人はどんな気持ちで写真なんかをとっていたんだと思います。原爆が落とされたために死んでしまった人、苦しんだ人のことを分かっていないと思います。原爆がどれだけの力を持っているのか知った上で日本にそれを落とすという考えはおかしいと思います。今も原爆を持つ国があるというところで、いつそんなことが起きるか分からないので原爆の恐ろしさを知っておくことはとても大事だし、戦争も二度と起きてはならないことだと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、私はタイトルの「7000℃の少年」という言葉に驚きました。7000℃なんてどのくらいかとか私の身の回りでは聞いたことのない温度です。夏は40℃でもう死にそうなのに、暑いのにならぬ、7000℃なんて考えられません。

もう一つ驚いたことは、被爆した人を助けていた時のことです。腕をひきつけて助けようとしたら、腕がとれた。傷口にはうぢ虫がいる。傷に化しているところは骨がみえそうな感じがしている。頭では想像することはできます。ですが私が実際に池田義三さんと同じ立場に立たされたとき、私がどうふるまうかは想像ができません。今の社会はとても便利で、もし目の前で人が倒れていたら、電話で救急車を呼ぶことが出来ます。その人を助けられます。しかし、昔はそれほど便利ではありません。助けにいのに助けられたい。心がいたみます。思いだしたくない話でも、そんなことを語って後世に残そうとしてくれる池田さんは、すばらしいと思う。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今から70年前、17歳という若さで軍に入った地田義三さんは、8月7日～9日間、元安川などで、死体を探し、燃やし、私達が考えられない、見たことのない世界で大へんな事になっていたことをはじめて知りました。学校や家で、原爆の話が出たとき、「原爆は大へんな」ということをワリは、思っていました。しかし、今日の授業で話していた内容を読み、写真や映像を見て、驚き、とても恐ろしくなりました。いきなり光におおわれ、熱にやられ、衝撃波によりこの世からなることがとても心にのこっています。実際に体験した人でも、光で何も見えずに、何かおき入るかわからずに死ぬというおそろしさを感ずるのではないかと私は思います。今の私達の生活は、あんなかいふとんで寝て、ご飯を食べて、笑い喜び、楽しくすごしています。私は、今まで、この生活が普通だと思っていました。親にも、「普通ではない」と言われてもピンときませんでした。今、私が生まれ、育ってきた事に感謝してすごしていきたいと思えます。そして、広島研修で、実際に見て、今日聞いた話、見た映像を思い出しながら、原爆ドームを見て勉強していこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

私は昔から原爆のこととしていたつちりでした。

でも今日原爆先生の授業を受講して、と思つて

いたよりち、ムさんで、ムじいことを知りました。

いままで、いろんな方の戦争はもう二度してはいけな、くりかえしてはだめに、と言つていました。

私もそう思つていましたが今日、あつためて説明をうけてビデオを見るとどうしていろんな人が戦争はだめに、と言つていた本当の理由が分かつたと思つます。

また被爆者の方が原爆ドームを訪れて原爆の様子を見てみると、被爆していない私達が見てもムじい、ムじい、と思つたのに被爆者の方は、ムじい、だと思つたのは少しむ、くりました。

被爆者の方はどんなつくりかを見てきたんだろうと思つた私はゾ、とほす。

またうらこも60kg中の1kgしか核分かつていな、のに。

広島、のほとんどのムじい姿になつてしまつたと知りとてもおどろきました

また、今日その千倍もする爆たんをいろんな国がひつてゐることを知りとても恐、いなと思つました

今日のことから戦争はとても恐、くおどろしいものだと改めたりしました



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を受講して始めて分かったこと
や思ったことが色々ありました。

その一つとして、一発目の広島に打たれた
リトルボーイにつまっていた核(ウラン)
が60kgあり、その中の60、1kgが核分離
しただけで一キロ圏内のものを消して
しまうので、改めて、恐い兵器だなと思
いました。また、原爆資料館に置いて
ある、被爆した方の模型がまだきれいな
ということを知り、実際はどんな状況だ
たのか想像もできませんでした。

今回の特別授業で聞いたことを胸に、
広島で起こったこと、その当時の状況を真剣
に学習したいと思います。でも僕がどれだけ
当時の状況を学んだとしても、被爆者の方
には近づけないけれど、それでも何だけでも
理解できるようにとめたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

いままで、原爆の話が先生とかからきいてきて、
原爆についてしっていたつもりだったけれど、今日もきいて原爆、戦争は生やさしいものではないということ、なんにもつみを防いでない人まで、まきこまれてしまうということ。火の海になってしまうだけでなく、熱線、衝撃波、放射線、いろいろな被害があることをよく学びました。
また、熱線では、約600mはなれた上空では、約100万 $^{\circ}$ Cの熱があり、陸上では3000 $^{\circ}$ Cもの温度が町全体にかかり、3000 $^{\circ}$ Cとか3000 $^{\circ}$ Cの温度ではないし、そんな温度をあびて、とけてしまうんじゃないかと思うぐらい、ものすごく怖くておそろしいし、また、なぜ戦争をおこしてしまったのか不思議だし、戦争をしなければ、こんな原爆をおとされたり、たぶん人の数が亡れたりすることはなかったのに、なぜ戦争をしてしまったのかも知りたいし、学ばなくてはならないとあらためて感じました。これからこんな、あやまちを日本が、世界中が、おこさないために、国どうし、みんなが平和について考えなくてはならないと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1945年8月6日におきた広島での原爆投下について、今考えると、どれだけ悲しく苦しいことかということが分かりました。

太陽よりも熱い物質が600m上空に出来た一瞬で命がうばわれ苦しむこともなく、なにがおきたかも分からず死んでしまう人もいて、皮膚がはがれおち、痛々しい姿で死んでしまった人もいるので、今、自分が平和で幸せに暮らしていることをありがたく思っています。生きていきたいと思いました。

長崎でも、原爆がおち、たくさんの方が死んでしまいました。それも1kg(ゴルフボール1つ分の大きさ)のウランが、核ぶんれつして14万人以上が死んでしまう。アメリカはためすため、苦しませるためだけに、原爆を落とし、そんな簡単に人の命はうばってはいけません。戦争は、絶対にしてはいけないということが分かった。もうこのように悲しみを起こさず、ため、今生きている人たちが、争いごとをせず、平

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

和であることを感謝して生きていかなければ、と
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、今日の話を聞いて、あまり原爆についてが
がえたことがなかったけど、深く考えさせられま
した。広島が選ばれたのも、偶然そこに落ち
たわけではなく、考えて落とされたことを初めて
知りました。京都を選ばなかったのも、その後の事
を考えてのことなんだなと思いました。
約47もの原爆が落ちてきて、光にうつまれたと思
ったら、一瞬で、灰になり、焼けたた"れて、熱風で、
とばされるなんて、想像できないなと思いました。
きっと、広島にいた人たちも、そんなことをもみなが、た
んだろうなと思うと、とても、かわいそうだなと思いました。
義三さんたちは、目のそむけたくなるよう景で、9日間任
務をはたしたのはすごいなと思いました。
私が特にびっくりしたのは、太陽以上の熱さで、太陽
より近い位置にあつたことです。太陽でもすごい熱い
のに、どれだけの熱さなんだろうと思いました。
今回の事を、考えながら、広島研修で原爆ドームを
訪れたいであ、実際はも。とひさんだ。たんだという事も
思いながら、研修をしたいであ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は“おそろしいもの”と知っていました

た。しかし、今日改めてくわしく話をきいて、

本当のおそろしさを学んだ気がしました。

今まで、しっかりと原爆について考えたことが

なかったため、今回の話をきくたびに

考えさせられました。

今回の話で、新しく学んだことが、驚いたことが

たくさんあります。原爆が落とされて、爆発

したときの温度が、太陽よりも高いという

のが驚きでした。日ごろ私たちが30℃、

35℃くらいで、暑い暑いと言っているのに

対し、爆発したときの温度が、3000℃以上

で、その場にいらぬのを想像するだけでも

こわいとは思いました。17歳にして、

陸軍に入り、死体を焼いたりして、池田義三

さんは生きてるこころがしびれた感じが

したと思いました。もし私がそんな体験を

したと想像するだけで、涙が出そうになる

し、本当にこわいとは思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は“おそろしいもの”を知っていました。しかし、今日改めてくわしく話をきいて、本当のおそろしさを学んだ気がします。今まで、しっかりと原爆について考えたことがなかったので、今回の話をきっかけに考えさせられました。

今回の話で、新しく学んだことを、驚いたことなどがたくさんあります。原爆が落とされて、爆発したときの温度が、太陽よりも高いというのが驚きでした。日ごろ私たちが、30℃、35℃くらいで、暑い暑いと言っているのに対して、爆発したときの温度が、3000℃以上で、その場に居るのを想像すると、とても怖いと思います。17歳にして、陸軍に入り、死体を焼いたりして、池田義三さんは生きてるにちがいないだろうと思います。もし私がそんな体験をしたと想像するだけで、涙が出そうになります。本当に、とても怖いと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日の話を聞いて、あまり原爆^{じゅこう}についてが
がえたことがなかったけど、深く考えさせられま
した。広島が選ばれたのも、偶然そこに落ち
たわけではなく、考えて落とされたことを初めて
知りました。京都を選ばなかったのも、その後の事
を考えてのことなんだなと思いました。
約47もの原爆が落ちてきて、光にうつまれたと思
ったら、一瞬で、灰になり、焼けただめで、熱風で、
とばされるなんて、想像できないなと思いました。
きっと、広島にいた人たちも、そいふ^{そいふ}と思ってもみなが、た
んだろうなと思うと、とてもかわいそうだなと思いました。
義三さんたちは、目のそむけたくなる^こう景で、9日間任
務をはたしたのはすごいなと思いました。
私が特にびっくりしたのは、太陽以上の熱さで、太陽
より近い位置にあったことです。太陽でもすごい熱い
のに、どれだけの熱さなんだろうと思いました。
今回の事を、考えながら、広島研修で原爆ドームを
訪りたいです。実際はもとひさんだったんだという事も
思いながら、研修をしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1945年8月6日におきた広島での原爆投下について、今考えると、どれだけ悲しく苦しいことかという事が分かりました。

太陽よりも熱い物質が、600m上空に出来た一瞬で命がうばわれ苦しむこともなく、なにがおきたかも分からず死んでしまっ人もいて、皮膚がはがれおち、痛々しい姿で死んでしまった人もいるので、今、自分が平和で幸せに暮らしていることもありがたく思っています。

長崎でも原爆がおち、たくさんの方が死んでしまいました。それも1kg(ゴルフボール1つ分の大きさ)のウランが、核ぶんれっして14万人以上が死んでしまっ。アメリカはためすため、苦しませるためだけに原爆を落とす。そんな簡単に人の命はうばってはいけないので、戦争は、絶対にしてはいけないという事が分かった。もうこのように悲しみを起こさず、平和で生きていく人たちが、争いごとをせず、平和でいることを感謝して生きていかなければ、と思っました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

平和であることを感謝して生きていかなければ、と思っました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

いままで、原爆の話と先生とかからきいてきて、
原爆についてしっていたつもりだったけれど、今日もきいて原爆、戦争は生やさしいものではないということ、
なんにもつみを防がない人までも、まきこまれてしまう
ということ。火の海になってしまうだけでなく、
熱線、衝撃波、放射線、いろいろな被害が
あることをよく学びました。
また、熱線では、約600mはなれた上空では、約100万
 $^{\circ}$ Cの熱があり、陸上では3000 $^{\circ}$ Cもの温度が
町全体にかかり、3000 $^{\circ}$ Cとか3000 $^{\circ}$ Cの温度ではないし、
そんな温度をあびて、とけてしまうんではないかと
思うぐらい、ものすごく怖くておそろしいし、また、
なぜ、戦争をおこしてしまったのか不思議だし、
戦争をしなければ、こんな原爆をおとされたり、
たくさんの方が亡くなることはなかったのに、なぜ
戦争をしてしまったのかも知りたいし、学ばなくてはならな
いとあらためて感じました。これからこんな、あやまち
を日本が、世界中が、おこさないために、国どうし、みん
なで平和について考えなくてはならないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を受講して始めて分かったこと
や思ったことが色々ありました。

その一つとして、一発目の広島に打たれた
「リトルボーイ」につまっていた核(ウラン)
が60kgあり、その中の $\frac{1}{60}$ 、1kgが核分離
しただけで一キロ圏内のもの全てを消して
しまうので、改めて、恐い兵器だなと思
いました。また、原爆資料館に置いて
ある、被爆した方の模型がまたきれいだ
ということを知り、実際はどんな状況だ
たのか想像もできませんでした。

今回の特別授業で聞いたことを胸に、
広島で起こったこと、その当時の状況を真剣
に学習したいと思います。でも僕がどれだけ
当時の状況を学んだとしても、被爆者の方
には近づけないけれど、それでも何だけでも
理解できるようにとめたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は昔から原爆のこととして知っているつもりでした。

でも、今日原爆先生の授業を受講し、思っ

たよりも、ひどいことを知りました。

いままて、いろんな方の戦争はもう二度してはいけない、くりかえしてはだめだ、と言っていました。

私もそう思っていました。今日、あすためて説明をうけてビデオを見るとどうしていろんな人が戦争はだめだ、と言っていた本当の理由が分かったと思います。

また被爆者の方が原爆ドームを訪れて原爆の様子を見てみると、被爆していない私達が見ても「ひどい」とか「まじい」と思うのに、被爆者の方は「それ、だ」と思うのは少しびっくりしました。

被爆者の方はどんなにつらいを見てきたんだろうと思うと私はゾッとします。

またウランも60kg中の1kgしか核分裂していないのに、

広島はほとんどがひどい姿になってしまったと知りとてもおどろきました。

また、今日どの千倍もある爆弾をいろんな国がぶつけていることを知りとても恐ろしいと思いました。

今日のことから戦争はとても恐ろしいものだと思わされてしまいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今から70年前、17歳という若さで軍に入った地田義三さんは、8月7日～9日間、元安川などで、死体を探し、燃やし、私達が考えられない、見たことのない世界で大へんな事になっていたことをはじめて知りました。学校や家で、原爆の話が出たとき、「原爆は大へんだ」ということばかりは、思っていました。しかし、今日の授業で話していた内容を読み、写真や映像を見て、驚き、とても恐しくなりました。いきなり光におおわれ、熱にやられ、衝撃波によりこなごなになることがとても心に残っています。実際に体験した人でも、光で何も見えずに、何かおきなのか分からずに死ぬというこわさを感じたのではないかと私は思います。今の私の生活は、あなたがいふとんで寝て、ご飯を食べて、笑い喜び、楽しくすごしています。私は今まで、この生活が普通だと思っていました。親にも、「普通ではない」と言われてもピンときませんでした。今、私が生まれ、育ってきた事に感謝してすごしていきたいと思っています。そして、広島研修で、実際に見て、今日聞いた話、見た映像を思い出しながら、原爆ドームを見て勉強していこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、私はタイトルの「7000℃の少年」という言葉に驚きました。7000℃なんてどのくらいかとか私の身の回りでは聞いたことのない温度です。夏は40℃でもう死にそうなのに暑いのには、7000℃なんて考えられません。

もう一つ驚いたことは、被爆した人を助けていた時のことです。腕をひきつけて助けようとしたら、腕がとれた。傷口にはうち虫がいます。傷にはいるとそれは骨がみえそうなのにえびがいます。頭では想像することはできます。ですが私が実際に池田義三さんと同じ立場に立たされたとき、私がどうぶりにするのは想像ができません。今の社会はとても便利ですが、もし目の前で人が倒れていたら、電話できょうきゅう車を呼ぶことが出来ます。その人を助けられます。しかし、昔はそれほど便利ではありません。助けたらのに助けられなかった。心がいたみます。思い出したとき、私も、そんなことを語って後世に残そうとしていた。池田さんは、すばらしいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生のお父さんの本当に体験したお話を聞いて、今まで自分が想像していたものよりもはるかに怖く恐ろしいものだと分かりました。お父さんが17才で入隊した池田さんは被爆した人のことを近くで見ているということは自分たちでは考えられないことだし、とても怖いと思いました。3000℃の温度で焼かれて亡くなってしまった人は昔は時間もなく一瞬に死んでしまったのだと思うと、とても悲しいことだと感じました。そしてやけどを負って痛みや苦しさがひどい状態になってしまった人たちはとても苦しかったし、どうすればいいのかわからなくなっていったと思います。こういう環境で空から原爆空の写真をとっていた人はどんな気持ちで写真なんかをとっていたんだと思います。原爆が落とされたために死んでしまった人、苦しんだ人のことを分かっていれないと思います。原爆がどれだけの力を持っているのかわかった上で日本にそれを落とすという考えはおかしいと思います。今も原爆を持つ国があるというところで、いつそんなことが起きるか分からないので、原爆の恐ろしさを知っておくことはとても大事だし、戦争も二度と起きては行かないことだと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は先生の話を聞いて、思ったことは
広島に原爆が落ちる前にどうにか
できなかったのか、と訊うことと、本当に
落として誰かが得をしたのかという
疑問が浮かびました。もちろん、原爆
は今日、先生に聞いたようにとても恐ろしい
ものです。だからこそ僕は、広島研修
に行ったとき、もっとたくさんの現実を自分の目で
確かめたいと思いました。

戦争に正義と悪はつけるのは難しいと
よく言われますが、僕は始めたときから、両方
悪だと思っています。原爆を落とされたから
ひどいというわけではないし、かといって
落とした側も、もちろん責任はあります。なので
結果的に僕は、原爆、そして戦争に
いたるまでの人の行い、戦争に流れを
もっていく考えはなくすべきたと今日
考えることができました。これから心は
しっかりとこの現実を刻んでおきたいです。